

平成28年度 第3回学校協議会 記録

○日 時 平成29年1月28日（土）11時～ 応接室にて

○出席者

学校協議会委員

大学院教授、地元中学校長、卒業生・元本校職員、元本校教員、元本校教員
保護者

学校関係者 6名

1 会長あいさつ

2 第2回以降の学校の動向

・准校長より

学校経営計画及び学校評価の報告。学校教育自己診断で、生徒の肯定的回答が全ての設問で前年度よりもポイントアップをめざしたい。保護者の回答が少なく、学校行事への参加が大幅に減少。授業アンケートで後期に前期から評価が上がった教員は半数。

次年度は、めざす学校像などをリニューアル。給食が復活、1・2限の休憩時間 18:45～10:05 に実施。

・教務部より

前後期に実施した進級・卒業に向けての特別指導の状況。

次年度、1年生に「ベーシック教養」（17:45～）を必修。情報科目を2年次と3年次に学習する。

・首席（生徒指導）より

弁護士による法教育を実施。多重債務を扱った3年の評価が高い。

地域清掃活動、薬物乱用防止教育、自転車通学指導、スマホ使用の指導。

・進路指導部より

今年度の進路状況。個別指導中心の進路指導。キャリア教育を年3回実施。

・保健部より

年間の保健行事、検診の受診率。本校生の身長・体重の全国・大阪との比較。健康教育で妊娠出産、食育・飲酒・喫煙。

う歯の罹患者は減っているが、一人当たりの本数が多い生徒がいる。

・教頭より

学校教育自己診断。自由記述が減っている。授業が楽しいが1ポイント減。授業アンケート。前後期でほとんど変化なし。2年の評価が上昇。

3 協議

・給食の復活は素晴らしい。

・自己診断で保護者の回収率を向上させるために、保護者が参加可能な進路行事などを増やし保護者の学校への関心を高める。数字に、一喜一憂しない。

・保護者に学校行事への参加が、生徒や保護者自身のメリットになることを訴える。

・スマホの利用には功罪あるが、書くことをしなくなっている。

・保護者への配布物が保護者に届いていないケース、保護者が学校に関心を持っていないケースがある。

・1年から進路保障につながる学力向上の「ベーシック教養」は、良い取組である。

・授業中のスマホ指導は、生徒の評価が下がっても進めたほうが良い。何のために学校に来ているのか考えさせる。

・めざす学校像などをリニューアルはよい。

・三国丘高校定時制の良い取組を、中学生に上手く伝えていく。

4 事務連絡 等

5 閉会